ゆきちくんの
誰でもカンタン読書ノート



～はじめてのレモンスカッシュ～

著　江口 シエロ

～はじめに～

どうもこんにちは、ゆきちくんです。

このノートを手に取ってくれて本当にありがとう。
このノートは…
読書ノートを最後まで完成させる事が出来ずに
挫折してしまった僕のために ご主人が、

「 読書ノートを最後まで完成させる事が出来ないのはそもそも…

本を読むのが **めんどい** からだ!! 」

って言う、トンデモ理論を元に作ってくれた読書ノートなんだ。
ノートに出てくるのは、まだ誰も読んだことのない**架空の本たち。**
あらすじを読んで、続きを想像して、自分だけの感想を気楽に
ノートに書き込めるようになってるよ。
君だけの世界を想像して、君だけの世界に一冊しかない
素敵な読書ノートを完成させてね。

そして素敵な物語に出会えた時は、僕にも是非教えてね。
僕の物語と、君の物語、見せ合いっこして色んな世界を
みんなで楽しく旅してみよう。
ルールはただ一つ。「 **思いのままに!!** 」

それじゃ読書ノート　スタート。

また会おうね！

もくじ

1 同伴探偵 JUNNA
～追憶のボトルキープ（未開封の約束）～

2 パイルドライバーは秋の季語

3 バーモントデイズ
～今、カツカレーみたいなキスをして～

4 犯人に注ぐ
～警視庁 特殊給湯課室 給湯係 出動せよ!!～

5 フライドチキンになれなかった鳥たちへ

6 パンプアップ × メモリーズ

7 ハイデヤンスの花

8 春風と、違法建築

9 お揃いの正義

10 悲しみはビュッフェスタイルで

11 俺の親父が実は本当の親父じゃなかったって事が最近発覚してちょっと揉めたんだけど、その親父の親父も実は本当の親父じゃなかったって事が最近発覚して、そっちもそっちで 揉めてる。

12 プリキュア検定５級に落ちた君に僕たちができること

13 区画整理担当田中おねえさんとおしぼり大魔王の城

14 誰とも結婚なんてしないで、希望だけ残して

15 ももえちゃんのアーティファクト

16 シンデレラ大戦

17 決して捕まえることの出来ない花火のようなアレ

18 なんとなく正しい君となんとなく間違える僕

19 誰かの花束

20 ゆきちくんの誰でもカンタン読書ノート

もくじ

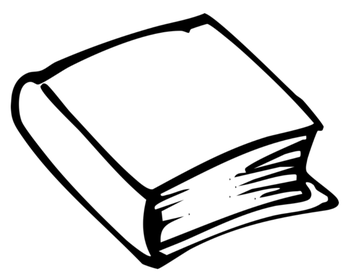
21

22

23

24

25



まずは僕が感想を書くね、

その次からがキミの番だよ！

～ゆきちくんの カンタンプロフィール～

種類：　犬

性別：　オス♂

好きな色：　黄色

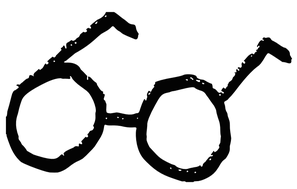
好きなアイテム：　くつ下

趣味：　散歩

趣味にしたいこと：　読書

将来の夢：　賢い犬

やめられないこと：　初対面の相手の
おしりのニオイを嗅ぐ



読書メモ



1

タイトル

同伴探偵 JUNNA

～追憶のボトルキープ（未開封の約束）～

出版社

もじもじ文庫



著者

マリ オシカワ

入手経緯

飲み会から帰ってきたご主人が玄関で力尽きて
倒れていた時に、抱えていた本。
実際にキャバクラで使えるマメ知識も
たくさん載っているらしい…

新小岩にある老舗キャバクラ「クラブ・ルミナス」。
この店で働く純菜は、人気、実力共にトップクラスの誰もが認める
新小岩No.1キャバ嬢だ。
だが彼女には、ひとつだけ困ったジンクスがあった。
それは：お客と同伴出勤をすると、なぜかその行き先で
毎回殺人事件に遭遇してしまうのだ。
高級寿司店では毒盛りワサビで板前が倒れ、焼肉屋ではタン塩に
ダイイングメッセージ。出勤前の現場検証にうんざりしながらも
純菜は、新米刑事の新米や、赤提灯マニアのイカ川警部と共に、
キャバクラで鍛えた洞察力と、どんなダメ男の愚痴にも完璧に共感＆
肯定が出来る優れた傾聴力で、数々の事件を解決へと導いていく。
やがて総武線沿線の利用客達の間で、
「新小岩に、同伴すると必ず事件に巻き込まれるが、代わりに
どんな謎でも解決してくれるキャバ嬢がいる」
と言う都市伝説が広まり始め…

そんなある雨の日、クラブ・ルミナスに一人の幼い少女が訪ねて来る。
そして彼女は震える手で、緑色の酒瓶に目いっぱい入った
小銭を見せながら、純菜に言った。

「探偵さん、お願いです。私を…私を、見つけてください。」

深夜ドラマにて大ヒットした前作、
～流星のアフター5（午後5時退社）～
同伴探偵の誕生秘話に迫った、
エピソード0が、ついに待望の文庫本化。

▶この本に合いそうな曲

ALRIGHT(竹内 あんな)

▶気になった登場人物

ルミナスの美穂ママ

▶印象的だったシーン / この本を読んで思い出したこと

内気な少女だった桜が、純菜達と行動を共にするうちに本来の
〝生きるチカラ〟を取り戻していき、最終的には
割り箸をマドラー 代わりにしてお酒を作り、ダル絡みする
おじさん達を華麗に収めたシーンは桜の成長を感じれて好き。

▶何故か心に残ったセリフ / 好きだった一文

「探偵である前に私は一人のキャバクラ嬢なの。
あなたのお酒を水で割ることは出来ても…
あなたの罪を、水に流すことは出来ない。」
by 純菜

▶本の感想 / 読んだ日の日記

面白い!! 純菜の高過ぎる傾聴力効果で、毎回殺人現場が
キャバクラの店内へと変わる演出が笑える。
純菜が主人公だが、僕は普段、ママに抱っこされる事が
一番好きなので、ルミナスの美穂ママが気になって
しょうがなかった。
「ドレスに柿の種をつけたまま、接客するような
キャバ嬢は三流。
ドレスに柿の種がつかないように接客するキャバ嬢は二流。
ドレスについた柿の種を〝話のタネ〟に変えて接客する
キャバ嬢は一流。」
の言葉は今後、僕の金言になる予感がした。

▶ちょっとやってみたくなったこと

売れないホストと、終電を逃したFランク大学達が流れ着く
深夜営業がメインの食堂に早起きして行って、
ちょっと焦げたハムエッグ定食を食べてみたいと思った。

本の評価

★ ★ ★ ★ ☆

読了日 2026/11/8

2

タイトル

出版社



著者

入手経緯

幼少より祖母が営む俳句教室にて古典短歌や老舗俳句文芸社にて働くのを夢見て、菜々子は、なんとか会社の最終面接まで行くことができた。なんと菜々子は最終面接の試験会場を間違えており、全く別の会社の採用試験を受けて見事に合格していたのだ。

しかも配属されたのは興味がないどころか禁止されたプロレス雑誌の編集部。そして、雅な精神を学んできた雅とは程遠い、採用通知が来るのを待っていたワビサビの悲しみに暮れる中、なかば自暴自棄になった菜々子達の業績も上がり、ひいてはその文芸社に転職出来るのでは？　…と一筋の希望を見出した菜々子。

かくして菜々子達はプロレス俳句大会を開催する為、プロレス用語全てに季語を付けていくという、狂気の作業に取り掛かる。

プロレス協会とのあつれき、出会うはずのタケノコマスクとの恋のタッグマッチ戦。

俳句文芸の限界に挑戦した逸脱者達が奮闘数々の困難に直面しながらもう一つの１・４東京ドーム決戦と、その舞台裏の物語。

▶この本に合いそうな曲

▶気になった登場人物

▶印象的だったシーン　/　この本を読んで思い出したこと

▶好きだったセリフ　/　何故か心に残った一文

▶本の感想　/　読んだ日の日記

▶ちょっとやってみたくなったこと

本の評価

☆　☆　☆　☆　☆

読了日　　/　　/